

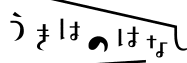


創業・移住支援ポータルサイト「うきはのはなし」特別編 大学生による市内事業所インタビュー

## 有限会社東部産業



有限会社 東部産業  
取締役  
村田 充さん



うきは市では、創業・移住支援ポータルサイト「うきはのはなし」の中で市内創業者・事業所の紹介をしています。

昨年度に引き続き、広報うきはでも久留米大学生による取材記事を掲載します。うきは市の様々な産業の魅力をお届けします。

### ■ トップインタビュー ■

#### Q. 御社の歴史と現在の事業内容を教えてください

弊社は、今年（2019年）で創業から94周年を迎える製材所です。創業当時（大正時代）は、久留米市内で樽屋を営み、樽と桶の製造・販売などをしていました。大正末期に主力商品であった樽等の売上げが低迷したため、昭和元年に現在の元になる建築材の製造・販売に着手いたしました。その後、太平洋戦争、久留米市の空襲など多くの困難を乗り越え、平成2年にこのうきは市吉井町に事務所を移転しました。現在、私で4代目になります。

現在は、製材作業から梱包・配送まで行い、九州のみにとどまらず、全国のお客様に建築材を販売しています。近年の少子高齢化に伴い、国内の消費が減少している問題を考え、今年から新たに海外への販路拡大も少しずつではありますが行っています。

#### Q. 会社として挑戦したい、伸ばしていきたいところはどこですか

まずは、常日頃、心がけていることですが、既存のお

客様との関係性をより密にして今まで以上にお客様のニーズに応えた高品質の製品・サービスの提供、新規開拓等を図っていくことです。次に、東京2020オリンピック・パラリンピックに関係する資材需要の伸びにも陰りがみえてきており、今年から新たに取り組んでいる輸出事業をできるだけ早く軌道に乗せることです。

#### Q. 御社の強みとこだわりについて教えてください

昔の製材所では木を伐採した後すぐに建築材にして販売していましたが、現在は乾燥という工程を入れないと買手がつかなくなりました。

弊社は、乾燥技術に関して、日本でもトップクラスの技術を持っています。木材は1つ1つ癖や育ち方も違いますが、そのすべてを完全に乾燥させ出荷しているのは全国でも弊社だけだと思います。

また、弊社は、海外の大手との取引に必要な森林認証材も取扱っており、JASの認定も受けています。

#### Q. うきは市の方に伝えたいことはありますか

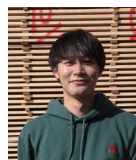
うきは市の方々には、やはり、うきは市の企業に就職してもらいたいです。既に働いている方は、仕事の中で何かやりがいを見つけ、その1つの企業で頑張りたいです。共にうきは市の企業を盛り上げていけたらと思っています。

### ★取材を終えて★

村田社長はとてもやさしい方で、いい雰囲気でした。インタビューすることができました。村田社長と社員との仲もよく、中小企業ならではの良さを感じました。（原）

村田社長はとても優しくたまに笑いなどを交えながら気さくにインタビューに答えてくれました。インタビューを通じて、社長としての会社に対する熱い思いを感じました。（國崎）

インタビューを通じて、村田社長の会社への強い思いが伝わってきました。将来自分が就職する時、こういう人の下で働きたいと思いました。（池邊）



久留米大学3年 原 孝一



久留米大学3年 國崎 優斗



久留米大学3年 池邊 宥哉

会社名 有限会社東部産業  
所在地 うきは市吉井町富永1779-1  
電話 0943-75-4775  
FAX 0943-75-4776  
http://toubu-wood.jp

この記事に関する問い合わせ先  
うきはブランド推進課商工振興係  
TEL:0943-76-9095  
取材協力：筑後信用金庫

創業・移住支援ポータルサイト

うきはのはなし

検索